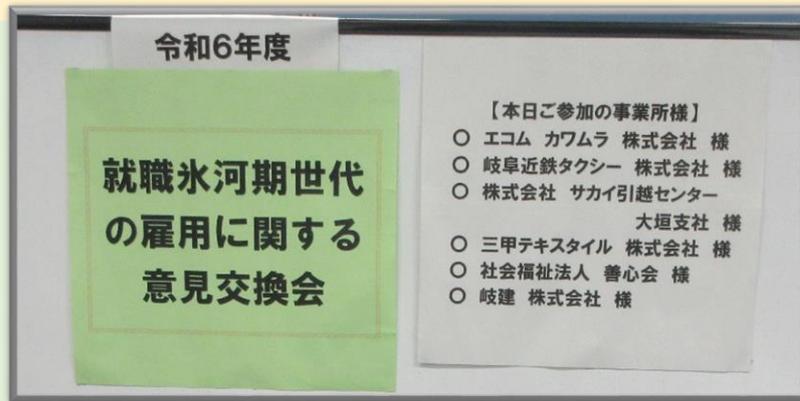


就職氷河期世代の雇用に関する意見交換会

令和6年6月7日(金)14~15時半 参加企業：6社



企業6社にお集まりいただき、氷河期世代の雇用に関する意見交換を行いました。選考時や採用時の工夫、雇用の課題、世代間のギャップ等について活発に発言をいただきました。

<賃金面が課題>

就職氷河期世代の労働者は、生活環境的に休日面よりも賃金重視。求職者が希望する賃金と企業が提示できる賃金に大きな差がある場合、採用に至らないことがある。選考時に希望条件を詳細に聞き取るようにしている。

<教育面が課題>

氷河期世代より若い世代が指導者となった場合に、お互いの関わり方が難しい。また氷河期世代の先輩従業員と仕事への向き合い方にギャップがある。

これらの課題は日々の相談業務で、氷河期世代の方からも聞くことがあります。

このような意見がある一方で、こんな発言も・・・

「（氷河期世代の雇用に関して）何も問題はない。この世代の方は、非常によく働いてくれる。特に50代の求職者は採用すると定着が良い」。

課題もありますが、氷河期世代の労働者は社会に出てからが長く、様々な経験をされているため、「よく働く」と感じている企業もあります。

今回の意見交換会でいただきましたご意見等をふまえ、今後もハローワークは求職者及び企業へのマッチングを効果的に実施し、一人でも多くの求職者が就職につながるよう積極的に支援を行っていきたいと考えています。

ご参加いただきました企業様、ありがとうございました。